

第6回 久米島町振興計画審議会 議事概要・議事録

日時: 令和 8 年 3 月 16 日(月)14:00~15:30

場所: 久米島町役場本庁舎 2 階第 3・4 会議室

区分	氏名	所属	出席
会長	小島 肇	琉球大学 准教授	○
副会長	村吉 政太	久米島紬事業協同組合 参事	×
委員	半嶺 通男	久米島高校元校長	○
	津波 勝代	沖縄県立看護大学 元島嶼保健看護アドバイザー	○
	岡村 盡	(一社)GOSEA 事務局長・海洋深層水学会 理事	○
	山城 晶	久米島町教育委員会	×
	大城 将司	久米島町農業委員会	○
	藺田 眞理	久米島商工会 会長	×
	内間 仁春	久米島町観光協会 会長	○
	大兼久 勝彦	JAおきなわ久米島支店 支店長	×
	田端 裕二	久米島漁業協同組合 組合長	○
	宮里 一弘	沖縄振興開発金融公庫 課長	○
	與那 明子	久米島町女性会 会長	○
	吉本 景太	久米島町社会福祉協議会 事務局長	○
	幸地 伸也	久米島町総務課 課長	○
	吉永 みゆき	久米島町福祉課 課長	○
	古堅 宗治	久米島町教育課 課長	○
	宮里 みかよ	久米島町こども未来課 課長	○
事務局	當間 直也	久米島町企画財政課 課長	○
	城間 忠	久米島町企画財政課 班長	○
	村吉 奈緒美	久米島町企画財政課 主事	○
	山城 一斗	(株)国建 まち・しまデザイン部	○
	上机 竜介	(株)国建 まち・しまデザイン部	○
	宮里 公輔	(株)国建 まち・しまデザイン部	○

次第	配布資料
1. 開会 2. 報告 <ul style="list-style-type: none"> • パブリックコメント及び住民説明会 • 第5回職員ワーキング 3. 審議 「第3次久米島町総合計画（最終案）」 閉会	次第 資料1：報告事項 資料2：第3次久米島町総合計画（最終案） 参考資料1：第3回庁内委員会及び第5回審議会議事録・議事概要

— 議事概要 —

No.	意見要旨	対応
第3次久米島町総合計画(最終案)【資料2】		
1	「久米島の光と影」に、魅力と課題の記載が一部重複している。	指摘を踏まえ、文言を修正する。
2	「貿易拠点として発展」「球美の島」等の表現は、歴史的根拠の確認が必要。	博物館や文献等を確認し、適切に修正する。
3	施策02の目指そう指標は、目標値の示し方が分かりにくい、指標の妥当性にも疑問がある。	目標値や表記を見直し、指標の適切性を担当課に確認する。
4	「脱炭素やカーボンニュートラル」など重複表現や、エネルギー関連用語を整理すべき。	関連計画との整合を確認し、表現を修正する。
5	産業フレームの「飲食・宿泊業総生産額」について、観光振興計画におけるDMOの調査との整合をとるべきではないか。	見え方によって誤解を生まないよう工夫する。
6	宿泊税や事業承継への視点が必要。	実施計画等で対応する。
7	人口ビジョンにおける「人口6,500人」の位置づけについて、「目標」ではなく「推計」とすべきではないか。	人口6,500人を「目標」として掲げ、町民とともに推進していく。
7	町民に配布するのであれば、専門用語はできるだけ使わないでほしい。	概要版も検討し、分かりやすく伝える工夫をする。
8	施策12には、ラムサール条約登録地及び久米島県立自然公園に指定されていることに関する記載があったほうがよい。	意見を踏まえて記載する。
9	第3次久米島町総合計画については、審議会として了承してよいか。	(異議なし)

— 議事録 —

1. 開会

- 開会のあいさつ(城間班長)

2. 審議

• 第3次久米島町総合計画(最終案)【資料2】

(事務局による資料説明)

吉本委員	「コラム：久米島の光と影」における30～40代の意見について確認したい。光(魅力)と影(課題)の文章に重複が見られる。
事務局	影(課題)の部分に光(魅力)の内容が誤って含まれているため、指摘を踏まえて文言を修正する。
内間委員	表紙から4ページ目の「久米島らしさ」にある「琉球王朝時代に貿易拠点として発展した」という表現が適切か確認したい。久米島が琉球王朝時代に貿易拠点として機能していた歴史的背景を博物館に確認したほうがよい。
事務局	久米島が貿易拠点として栄えていたことに関する歴史的文献等を確認したうえで、表現の修正を検討する。その上で、「貿易の拠点として発展した」という形で記載したいと考えている。
半嶺委員	施策02の目指そう指標(KPI)について、中学3年生の指標が「基準値：-2.3pt」「目標値：-2.3pt以上」となっており、目標設定の意図が分かりにくい。現行の記載は、現状値であるマイナス2.3pt以上を目指す意図であると考えられるが、学力向上を目指す指標としては分かりにくい表現である。学力の向上をより明確に示すためには、例えば中学3年生の目標値を「1.0pt以上」等、改善の方向性が分かる数値に見直した方が分かりやすい。
事務局	指標については過去の実績を確認しながら設定しているが、5年間の基本計画期間を踏まえると、目標値をもう少し高く設定できるか検討する。併せて、表記の仕方も含めて見直し、調整する。
岡村委員	表紙から4ページ目の「久米島らしさ」にある「球美」という表現について、琉球王国時代には使われていないと認識しているので、この文脈での使用は適当でないと思える。 記載の適切性については、博物館等で確認したほうがよい。 施策02の目指そう指標について、「全国学力・学習状況調査の平均正答率」を指標として設定することには批判が多いと認識している。特に久米島に教育を求めて来る人が重視しているのは試験の正答率ではない。それを重視するのであれば東京に行ったほうがよい。この指標が「久米島らしい」教育の指標として適切であるか疑問がある。 「基本目標：自然・環境」にある「脱炭素やカーボンニュートラルの実現に向けた」という記載については、「脱炭素」と「カーボンニュートラル」で意味が重複しているため、どちらかを削除して整理してほしい。 また、「再生可能エネルギーによる自給率の向上」という表現は、エネルギー分野では一般的ではない表現である。町の「久米島エネルギービジョン2020」に基づき、「エネルギー自給率」又は「再生可能エネルギー比率」のいずれかの表現に修正してほしい。
事務局	指摘のあったエネルギー分野の表記については、十分に確認を行い、修正する。「球美の島」という表現についても、博物館に確認する。 また、施策02の目指そう指標について、「全国学力・学習状況調査の平均正答

	率」を目標として設定することの適切性について、担当課に確認する。
小島委員長	岡村委員へ、施策 02 の目指そう指標について、「全国学力・学習状況調査の平均正答率」に代わる指標案があれば教えてほしい。
岡村委員	考えてはみたが、この分野の指標の設定は難しいと感じた。例えば、久米島独自といえる内容の授業時間数の割合などではありえると思う。
小島委員長	目指そう指標については、指標の設定自体が難しい分野もあるため、検討を重ねながら当てはめていく部分もあると。
内間委員	産業フレームの「飲食・宿泊業の総生産額」について、確認したい。観光収入については、現状でも、観光振興計画における DMO の過年度調査資料では推計 60 億円を超えている。入域観光客 1 人当たりの消費額はオフシーズンで 6 万円、オンシーズンで 8 万円を超えている。久米島において多くの外貨を稼いでいる分野は観光であるため、職員や事業者の誇りにもつながるよう、見え方を踏まえた数値設定としてほしい。 また、次年度から沖縄県において宿泊税の導入が見込まれることから、あらかじめ町において試算を行い、計画の中で観光地の整備に充てる等、その活用について示してほしい。 さらに、人口減少が進む中、観光業界においても事業承継が課題となっているため、計画の中で課題として位置づけるべきではないか。
事務局	宿泊税の運用については、今後、実施計画を策定する中で着実に取り組んでいく。 観光産業における事業承継の課題や人手不足については、基本施策、実施計画で適切に対応していく。
事務局 (コンサル)	産業フレームにおける飲食・宿泊業の総生産額については、沖縄県の市町村民所得の結果に基づいて設定している。消費額と総生産額は一致するものではなく、経費等を差し引いた生産額等を基に算出している。
内間委員	飲食・宿泊業の総生産額については、県民所得が低い状況にある中でも、観光産業は県内で最も外貨を稼ぐことのできる産業であるため、その重要性が伝わるように示すべきである。そうした示し方をしなければ、観光産業に携わる職員が誇りを持って働ける環境をつくることができないとの観点から、問題提起した。
事務局	飲食・宿泊業の総生産額については、持続的かつ客観的に把握していくため、国が収集しているデータを使用している。 また、観光産業は町内においても重要な産業であると認識している。今後、久米島町観光協会と連携しながら、目指そう指標等の達成に向けて取り組んでいきたい。
小島委員長	飲食・宿泊業の総生産額目標については、他産業(農業、水産業、製造業)の生産額と同じ統計の指標を用い、並びの整合性を意識して作成しているため、ここだけ異なるデータを用いると整合性が取れなくなる。 一方で、内間委員の指摘のとおり、見え方によって誤解を生まないよう工夫してほしい。 また、観光に特化した別の指標や観光消費額等については、実施計画など別の箇所ですすのがよいのではないか。
岡村委員	人口ビジョンにおいて、「人口 6,500 人」を目標とするのか、推計とするのかは重要なポイントである。人口は外部要因の影響が大きいため、これを目標として設定することには違和感がある。実際、現行の第 2 次久米島町総合計画では、令和 7 年度の人口目標を 8,500 人としているが、現状は社人研の人口推計すら下回っている。これは役場の努力不足によるものではなく、外部要因の影響が大き

	<p>いたためである。したがって、人口は「目標」とはなりえないと考えている。</p> <p>また、「産業フレーム・人口ビジョン」のリード文にある「久米島で暮らし続けるためには、人口減少を受け入れつつも各産業を活性化又は維持しながら、人口減少を可能な限り抑制する必要があります。」とあるが、これは「人口減少を可能な限り抑制しなければ、久米島に暮らし続けられない」と同義である。この点については賛否あり、過剰な表現であるとも思うので、文言の修正を検討してほしい。</p>
事務局	<p>事務局としては、現状として人口減少が進んでいく中であっても、産業の活性化やサービス水準の維持を図り、将来にわたって島の持続を実現していくため、人口 6,500 人を行政としてしっかりと「目標」として掲げ、町民とともに推進していきたい。</p> <p>また、岡村委員から「目標」という文言に対する指摘があったことについては、事務局としても認識しているが、島の人口を維持していきたいという考えから、「目標」として設定したい。</p>
津波委員	<p>人口ビジョンの推計条件については、単に文言として示すだけでなく、どのような手順や取組を通じて実現を目指すのか分かるようにしてほしい。</p>
事務局	<p>推計条件については、「人口目標:6,500 人」の達成に向けては現状として厳しい条件にあるが、行政として実施計画等を通じて取り組んでいきたい。</p>
小島委員長	<p>人口ビジョンについては、行政として「目標」として位置付けている。また、推計条件の達成に向けた内容は、第 3 次久米島町総合計画(最終案)に盛り込まれているものと理解している。行政として、目標達成に向けて着実に推進してほしい。</p>
與那委員	<p>第 3 次久米島町総合計画の冊子は、町民に配布するのか。</p>
事務局	<p>町民への配布は予定していないが、町民が手に取れるよう、図書館等に配置していきたい。</p>
與那委員	<p>第 3 次久米島町総合計画(最終案)は、第 2 次久米島町総合計画と比べて内容に大きな違いが見られない。新たにリーディングプロジェクトが追加されているが、専門的で分かりにくい。町民に配布するのであれば、専門用語はできるだけ使わないでほしい。</p> <p>また、久米島の現状を見ると、海、山、陸等、様々な面で状況が悪化してきているように感じる。そのような中で、少しでもよりよい方向に改善してほしい。</p>
事務局	<p>町民とともにまちづくりを進めるため、第 3 次久米島町総合計画の概要版等を通じて、分かりやすく伝える工夫を検討する。</p> <p>また、計画の推進に当たっては、ワークショップ等を通じて町民とコミュニケーションを取りながら進めていく。</p> <p>併せて、行政だけでなく、各種団体等とも協力しながら地域課題に向けて取り組んでいきたい。</p>
與那委員	<p>行政は現状、住民アンケートを実施するだけで、課題に対する解決や対応が遅く、同じことの繰り返しになっているように感じる。</p>
小島委員長	<p>町民の意見に対しては、適切にフィードバックできるようにしてほしい。</p> <p>また、與那委員の意見を踏まえると、従来のように意見収集の場を設けて「意見を聞く」という姿勢にとどまるのではなく、町民や各種団体が集まるイベント等に行政が積極的に出向き、説明会を開いたり、意見を聞きに行ったりする姿勢が必要である。</p>

	<p>そのためには、町民も主体的に活動していく必要がある。こうした積み重ねが、みんなでつくり上げるまちづくりにつながる。</p>
宮里委員	<p>将来像にある「久米島らしさ」は重要なキーワードである。全国に 1,700 余の市町村がある中で、少子高齢化や人口減少が進み、移住・定住者の獲得は全国的な競争になっている。人口増加や生産年齢人口の増加が見込まれていた以前は、企業誘致によって人口が増えるという企業城下町の考え方があったが、現在は企業が来ても働き手が不足している状況であり、幸福感を感じられる所に人材が来て、それを追いかけて企業が来るというステージになっている。一方で、宮古・石垣・沖縄本島では貸家の入居率が 95 %以上と高く、移住したくても住む場所の確保が難しい状況にある。</p> <p>しかし、住宅を確保すればよいというわけではなく、そこに住む人の生活が成り立つよう、暮らしをつくっていくことが重要である。そのためには、第 3 次久米島町総合計画(最終案)で掲げる各施策を着実に推進する必要があり、さらに 1,700 余の自治体に埋没しないように「久米島らしさ」を魅力として、人を引きつけることが重要である。</p> <p>また、人口が減少していくと町の文化・歴史や事業を受け継ぐことができない。パブリックコメントの中に、人口が減少していくのであれば、町の財政に体力があるうちに不要な公共物を取り壊してほしいという意見があったが、人口減少を抑制できるのであれば、当初の役目を終えた公共施設は民間の活力を借りながら別の用途として利活用することも可能である。</p> <p>持続可能なまちづくりを進めるためにも、将来人口は「目標」として設定し、20 の基本施策を着実に推進することを期待する。</p>
田端委員	<p>施策 07 の水産業に関する記述については、内容は概ね問題ない。</p> <p>一方で、現状の水産業の現場では働き手が急速に減少しており、厳しい状況にある。これを踏まえ、行政に相談しながら外国人実習生の確保にも取り組んでいるが、外国人に限定するのではなく、若手を含む幅広い働き手全体を対象とした就労支援や人材確保の施策を進めていきたい。</p>
大城委員	<p>前年度から第 3 次久米島町総合計画の策定に向けた委員会に参加してきたが、久米島町全体として、多くの課題を抱えており、不安も大きい。農業分野としても課題解決に向けて取り組んでいくため、第 3 次久米島町総合計画についても着実に推進してほしい。</p>
津波委員	<p>リーディングプロジェクト 1 の「リーディングプロジェクトの展開 2.」には高齢者に関する記述があるが、今後はより具体的な取組につながってほしい。</p> <p>現在、具体的な取組として、個人で地域共生サポーターの講座に取り組んでいる方がいる。地域の方々の喜びにもつながっているが、行政の支援があれば、さらに充実した取組になると考えられる。併せて、配食サービスや民生委員の活動についても、行政の支援により、さらに推進してほしい。</p> <p>このように、地域の高齢者のために取り組んでいる人がいる。こうした取組を推進していくことで、他の地域にも引けを取らないまちづくりができると感じている。そのため、行政としても支援を行い、後押ししてほしい。</p>
事務局	<p>高齢者の方々については、見守りやサロン等を通じて支援していきたい。また、シルバー人材センターと連携しながら、高齢者がいきいきと活躍できるよう取り組んでいきたい。</p>
内間委員	<p>施策 13 の表において、天然記念物として「五枝の松」が含まれているか。</p>

	<p>また、施策 12 には、ラムサール条約登録地及び久米島県立自然公園に指定されていることに関する記載がない。これらは外部からの評価という観点からも重要であるため、記載があったほうがよい。</p> <p>併せて、次回以降は、審議会等の議論の場において、参考資料として町の財政状況を示し、委員が確認できるようにしてほしい。</p>
事務局	<p>天然記念物に五枝の松が含まれているかについては、現在、国による指定解除待ちの状態であるため、含まれている。</p> <p>また、意見を踏まえて、施策 12 には、ラムサール条約登録地及び久米島県立自然公園について記載したい。</p> <p>町の財政についても、今後は審議会等の場で確認できるようにしていく。</p>
小島委員長	<p>第 3 次久米島町総合計画については、審議会での意見を踏まえて修正を行うものの、本案の内容で審議会として了承することとしてよいか。</p>
出席委員	(異議なし)

答申

- 審議会終了後、町長へ答申する内容について確認を行った。

(小島委員長より答申書の説明)

小島委員長	<p>答申の内容について、意見や指摘があれば伺いたい。</p>
與那委員	<p>第 2 次久米島町総合計画には「稼げる島」という文言があるが、答申書には記載しないのか。単に働けるだけでなく、現実的な視点を踏まえるという観点からである。</p>
小島委員長	<p>第 3 次久米島町総合計画(最終案)においても、基本構想や将来フレームの中で産業振興について記載している。あえて答申書に記載し、強調する必要があるのか。</p>
岡村委員	<p>與那委員の指摘箇所は中高生の意見を紹介した箇所なので、中高生から「稼げる島」というキーワードが出ているのであれば、記載があってもよいのではないか。</p>
事務局 (コンサル)	<p>資料 2 の p.11 ではコラムで中学生・高校生アンケートの意見を紹介しており、また p.30 でも中学生アンケートの意見を紹介している</p>
與那委員	<p>久米島の課題にしっかり向き合うという視点から、「稼げる島」について現実的な記載があるとよい。第 2 次久米島町総合計画に同様の記載があった。</p>
小島委員長	<p>中高生から「稼げる島」についての意見や記載があるのであれば盛り込むべきであるが、第 2 次久米島町総合計画とは異なり、第 3 次久米島町総合計画において、あえて「稼げる島」を強調する必要がないのであれば、答申書に記載がなくてもよい。</p>
吉本委員	<p>答申については、委員会で内容の確認を行ったうえで町長に提出する流れでよいか。また、答申内容を公表するのか。</p>
事務局	<p>答申までの流れについては、その通りである。</p> <p>公表については、庁内では公表するが、住民を含めた全体への公表については庁内で確認したい。現時点での判断としては、審議会委員の了承が得られれば公表できると考えている。</p>
吉本委員	<p>答申書の「3.今後の行政運営への期待」にある「道しるべ」という表現については、総合計画が基本構想・基本計画を策定していることを示す分かりやすい表現である。</p> <p>答申書の内容については、提示されたもので問題ない。</p>

小島委員長	答申内容を公表してもよいか。
岡村委員	答申書において、人口目標を積極的に評価している点は、私の意見とは異なる。折り合いのつかない論点であることは承知しているので、答申内容を公表するのであれば、審議会の議事録も併せて公表してほしい。
事務局	審議会の議事録については、これまでの分を全て公表しており、今回の審議会の議事録についても公表する予定である。
小島委員長	提示した答申書の内容で町長へ答申してよいか。
出席委員	(異議なし)

- 審議会委員を代表し、小島委員長から町長へ「第3次久米島町総合計画」について答申を行った。

3. 閉会

- 次期総合計画をここまで形にさせていただいたことに感謝申し上げたい。行政として、今後10年間でこの総合計画を実現できるよう取り組んでいくので、皆様においては、住民・事業者として引き続き力添えをお願いしたい。



以上